

COVID-19病棟でのゾーニング

清潔エリア
(グリーンゾーン)

準清潔エリア
(イエローゾーン)

患者エリア
(レッドゾーン)



レッドゾーンでのフルPPE



アイソレーションガウン
2重手袋
N95マスク
ゴーグル
フェイスシールド
キャップ



COVID-19病棟での様子

〈病室内〉

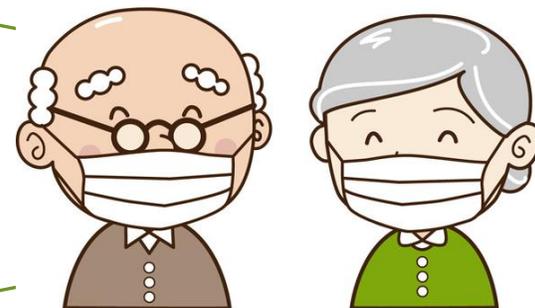


患者の特徴

第6波となってからは、COVID-19治療のための入院以外に、去痰困難や嚥下困難、食事摂取困難に伴い入院する高齢者が多くなった。また、ADLが低下した状態での入院が多くなった。



介護を要する患者が増加



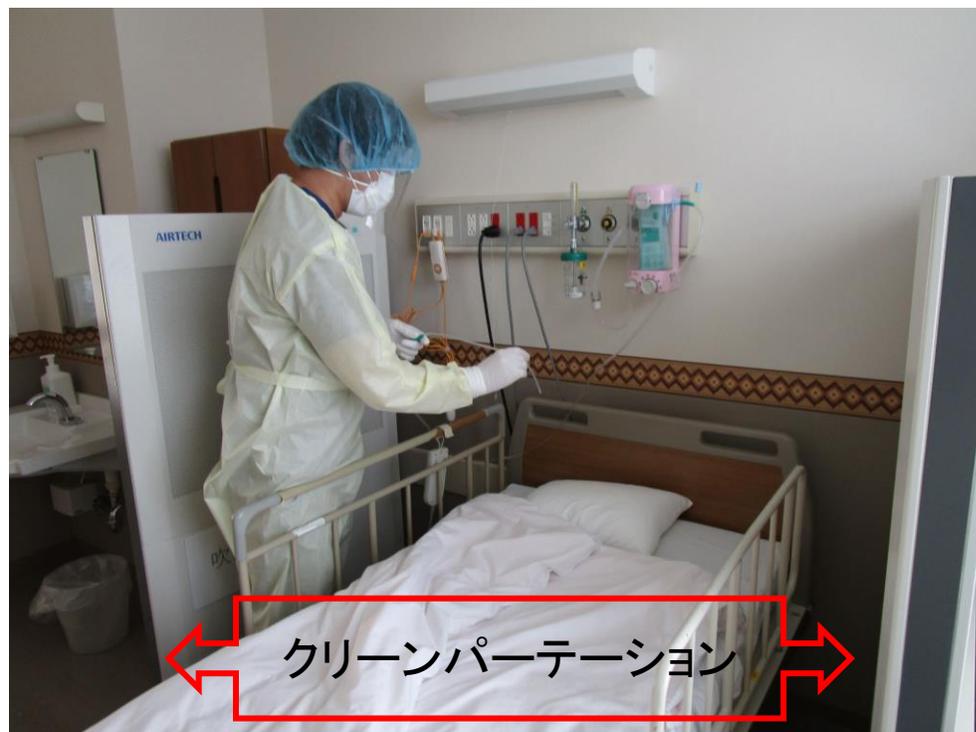
COVID-19病棟での様子

〈病室内(ポータブルトイレ設置)〉



COVID-19病棟での様子

〈吸引時〉エアロゾル発生の可能性がある場合クリーンパーテーション設置



COVID-19病棟での看護

○去痰困難

水分摂取促す（体温表に水分量記録）

体位ドレナージ 口腔ケア

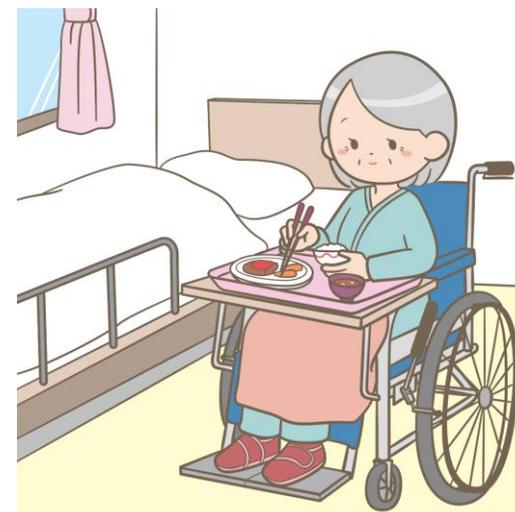
必要時吸引実施 など

○嚥下困難、食事摂取困難

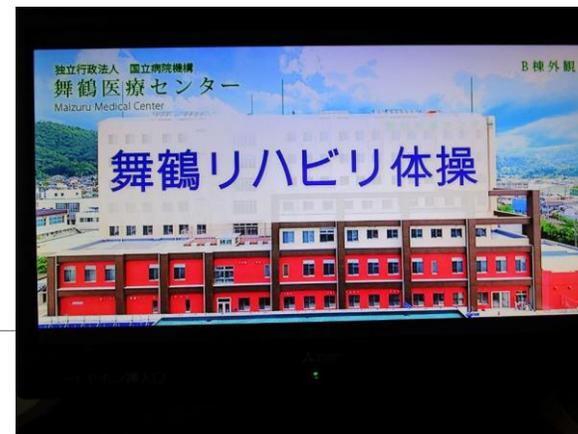
食事介助 食事摂取状況観察

食事形態の工夫、付加食の検討

食事摂取環境の調整 など



COVID-19病棟での看護



○フレイル予防

- 病室内のテレビでリハビリ体操を実施できるようにしている。
- リハビリテーション科の協力を得て、ベッドサイドでできるリハビリパンフレットを作成し活用している。
- むりえなど趣味や好みに合わせて病室内でできるレクリエーションを提案し、実施している。



患者の持てる力を少しでも発揮できるように努めている

COVID-19病棟での看護

患者が安心して入院生活を送ることができるよう看護するとともに院内感染防止のため感染管理の徹底に努めている。

- 正しいガウンテクニックの実施
- 病棟内の環境整備の徹底
- 病棟内の換気の徹底

